

平成22年度

第3年次編入学
学生募集要項

帯広畜産大学

目 次

1 募集人員（入学定員）	1
2 編入学の時期及び編入学年次	1
(1) 編入学の時期	
(2) 編入学年次	
3 出願資格	1
4 入学者選抜方法等	1
(1) 入学者の選抜	
(2) 面接	
5 出願手続	2
(1) 出願書類等	
(2) 出願期間	
(3) 出願方法	
(4) 出願上の注意事項	
(5) 出願書類記入上の注意事項	
(6) 出願書類等の提出先	
6 障害等のある志願者との事前相談	3
(1) 事前相談を必要とする障害等の程度	
(2) 相談の期限	
(3) 連絡先	
7 学力検査等の日時等	4
(1) 学力検査等の日時	
(2) 試験場	
(3) 受験上の注意事項	
8 合格発表	4
9 入学手続	4
(1) 入学手続期間	
(2) 提出書類	
(3) 納付金	
(4) 入学手続上の注意事項	
10 修学条件等	5
(1) 修業年限及び在学期間	
(2) 既修得単位の取扱い	
11 個人情報の取扱いについて	5
◎ 入試データ	5
◎ 出願書類の提出・請求・問い合わせ先等	5
◎ 帯広畜産大学所在地及び交通案内図	6

1 募集人員（入学定員）

学部名	課程名	専門教育ユニット	募集人員
畜産学部	畜産科学課程	生命科学ユニット	10人
		家畜生産科学ユニット	
		食品科学ユニット	
		環境農学ユニット	
		農業経済学ユニット	

2 編入学の時期及び編入学年次

- (1) 編入学の時期
平成22年4月1日
- (2) 編入学年次
第3年次

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成22年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を有する者及び平成22年3月までに取得見込みの者
- (3) 大学に、平成22年3月までに2年以上在学し62単位以上を修得している者及び修得見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること。）を満たすものを修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月までに修了見込みの者
- (6) 前各号に定めるもののほか、法令等で大学の第3年次に編入学できると定められた者
- (7) 外国において前(1)、(2)、(3)の各号に相当する資格を得たと認められる者

※ 上記(7)に該当する者は、事前に必ず本学に連絡してください。連絡先は、5ページに記載してあります。

4 入学者選抜方法等

- (1) 入学者の選抜
入学者の選抜は、本学が実施する学力検査（英語、小論文）及び面接の成績、志願理由書及び成績証明書の内容を総合して行います。
なお、小論文は、特定の課題を与えて1,000字程度とします。
- (2) 面接
本学において専門教育を受けるにふさわしい適性をもつか否かを判定することを目的とし、複数の面接員による個人面接とします。

5 出願手続

(1) 出願書類等

① 出願書類

出 願 書 類	摘 要
1 入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	<ul style="list-style-type: none"> ・ *印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 ・ 写真（縦4 cm横3 cm）は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に氏名を記入の上、写真票の所定の欄にはってください（受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください）。
2 志 願 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編入学を志願する理由を800字以内で記入してください。
3 卒 業 証 明 書 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業証明書、卒業見込証明書又は在学期間を証明する書類 ・ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者は学位授与証明書
4 成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身学校等の成績証明書（平成22年3月までに修得見込みの科目については、評価の欄に○印を付したもの。） ・ 上記の成績証明書に○印での記載ができない場合は、成績証明書と平成22年3月までに修得見込科目の単位数の入った書類でも可能
5 あ て 名 票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名・志望専門教育ユニット名を明記の上、提出してください。
6 受 験 票 送 付 用 封 筒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学所定の封筒（小）に郵便番号・住所・氏名を明記し、350円分の切手をはったものを提出してください。

注：専修学校の専門課程を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者は、所定の出願書類の他に次のいずれかの書類を提出してください。

ア 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する書類

イ 専門士の称号の付与が認められた専門課程を修了したことを証明する書類

② 検 定 料

30,000円

本学所定の払込取扱票により、検定料30,000円を払込期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。

払い込み後、「振替払込受付証明書（お客様用）」（日附印が押印されたもの）を**入学願書裏面の所定の場所にはって提出**してください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口取扱いは通常平日は16時まで、土・日曜日は休業ですのでご注意ください。

検定料払込期間：平成21年8月10日（月）から平成21年8月26日（水）

③ 出願の留意事項

1) 受理した検定料は、次の場合を除き返還することができません。

検定料を払い込んだが帯広畜産大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に払い込んだ場合には、払い込んだ者の申し出により、当該検定料相当額を返還します。

返還の申し出は、速やかに行ってください。

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試課入学試験係 TEL 0155-49-5321

2) 検定料が払い込まれていない場合や「払込受付証明書」に郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押印されていない場合は出願を受理できません。

- (2) 出願期間
平成21年8月20日(木)から平成21年8月26日(水)まで
- (3) 出願方法
 出願書類は、本学所定の封筒に一括して入れて持参又は郵送してください。
- ア 持参の場合
 受付時間は、8時30分から17時00分までとします。ただし、土・日曜日を除きます。
- イ 郵送の場合
 必ず「**速達書留**」扱いにし、**平成21年8月26日(水)17時00分必着**とします。
- (4) 出願上の注意事項
 ア 提出された出願書類等は、返還することができません。
 イ 志望専門教育ユニットは、必ず第3志望まで記入してください。
 ウ 出願後の志望専門教育ユニットの変更は認められません。
- (5) 出願書類記入上の注意事項
 ア 出願書類の記入に当たっては、黒色ボールペン又は黒色インクを使用し、漢字は楷書で、数字は算用数字ではっきりと記入してください。
 イ 太線の枠内のみに記入し、*印欄には記入しないでください。
 ウ 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消して訂正してください(訂正印は不要)。
 エ 入学願書の「出願者の連絡先」、「父母等の連絡先」及び「あて名票の合格通知送付先」等について変更があった場合は、速やかに郵便はがきで連絡してください。
- (6) 出願書類等の提出先
 5ページに記載してあります。

6 障害等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に本学と相談を行ってください。

(1) 事前相談を必要とする障害等の程度

区 分	特別措置の対象となる者
① 視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 ・上記以外の視覚障害者
② 聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者
③ 肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・①～④の区分以外の者で特別措置を必要とする者

注： 日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください。

(2) 相談の期限

平成21年7月31日(金)まで

注： 相談の期限後の不慮の事故その他特別な理由により、事前相談が必要になった場合は、直ちに(3)の連絡先に申し出てください。

なお、必要な場合には、本学において志願者又はその内容を説明し得る出身学校関係者等との面談を行うこともあります。

(3) 連 絡 先

5ページに記載してあります。

7 学力検査等の日時等

(1) 学力検査等の日時

実施期日	時間	科目等
平成21年9月30日(水)	9:30~10:30 (60分)	英語
	11:00~12:30 (90分)	小論文
	13:30~	面接

(2) 試験場

帯広畜産大学

(3) 受験上の注意事項

ア 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

イ 9時までに試験室に入室してください。

なお、試験室へは8時30分から入室することができます。

ウ 平成21年9月29日(火)10時までに試験場配置図を受験者入口(6ページ参照)に掲示しますが、試験場内に入ることはできません。

エ 試験当日、付添人は試験場内に入ることはできません。付添の方には、別途控室を設けます。

オ その他受験票裏面の注意事項をよく読んでおいてください。

8 合格発表

(1) 平成21年10月15日(木)10時(予定)

合格者の受験番号を本学総合研究棟I号館玄関の掲示板及びホームページに発表します。

(ホームページのアドレスは5ページ参照)

(2) 合格者には、合格通知書を「速達」で郵送します。

(3) 電話等による可否の照会には、応じられません。

(4) 入学定員に欠員がある場合には、追加合格を行います。

追加合格該当者には、平成21年12月7日(月)から、入学願書に記載された『出願者の連絡先』に電話で連絡します(不在の場合は、『父母等の連絡先』とする。)

9 入学手続

入学試験に合格した者には、速達で入学手続に必要な書類等を合格通知書とともに送付しますので、入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

平成21年11月30日(月)から平成21年12月4日(金)まで

(2) 提出書類

誓約書

(3) 納付金

入学料 282,000円

授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)

注 上記の納付金は現行額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

(4) 入学手続上の注意事項

ア 持参の場合の受付時間は、8時30分から17時00分までとします。

なお、郵送の場合は必ず「速達書留」扱いとしてください。

イ 入学料及び授業料は、本学所定の払込取扱票により最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。

ウ 授業料は、後期分授業料267,900円を合わせた535,800円を一括納付することができます。

エ 前期分の授業料を(1)の入学手続期間中に納付できないときは、平成22年4月1日(木)から平成22年4月30日(金)までの間に納付してください。

オ 入学手続期限までに「入学」「入学辞退」のいずれの手続きも行わないことのないようにしてください。

カ 入学手続期間中に授業料を納付した者が、平成22年3月31日(水)までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により当該授業料相当額を返還します。

ただし、既納の入学料は返還できません。

10 修学条件等

(1) 修業年限及び在学期間

本学の修業年限は4年間ですが、編入学生については、そのうち2年間に既に在学したものとし、第3年次に在学しているものとして取り扱います。

なお、入学後の在学期間は4年間となりますので、それを超えて在学することはできません。

(2) 既修得単位の取扱い

本学に編入学する前に出身大学等において修得した単位については、本学の定める基準により本学において修得したのものとして認定します。

既修得単位の認定は、出身大学等で修得した授業科目の内容・単位数を勘案して本学を卒業するために必要な単位数と授業科目等を定め、それに基づき認定します。

認定する単位数は、本学の卒業要件単位数124単位のうち半数の62単位を目処としますが、本学を卒業するために必要と定められた単位数により若干前後することがあります。

11 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係(修学指導等)、学生支援関係(奨学金申請・授業料免除申請等)に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

◎ 入試データ (平成21年度)

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
畜産科学科	10人	26 (12)	12 (8)

()内の数字は内数で女子を示す。

◎ 出願書類の提出・請求・問い合わせ先等

出願書類の提出又はこの募集要項及びパンフレット等を請求するときは、郵便番号・住所・氏名を明記し、390円分の切手をはった返信用封筒(角型2号)を同封し、必ず畜産科学課程編入学募集要項請求と明記して下記に請求してください。

また、この編入学試験に関する問い合わせは、下記まで電話又は郵便(返信用封筒同封のこと。)で照会してください。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学教育研究協力部入試課入学試験係
☎ 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各課程の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 < <http://www.obihiro.ac.jp> >

◎ 専門教育ユニットの受入数等について

1. 専門教育ユニットの受入数について

専門教育ユニットの受入数は、各ユニット約2名を予定しています。

2. 専門教育ユニットの内容

生命科学ユニット

ミクロからマクロまでを通じた幅広い生命科学の知識と技術を備えて、研究・専門職や大学院進学を目指す人材を育成します。ウシなどの家畜を主な対象として、遺伝や発生、分泌や生理、生殖や繁殖などをミクロレベルで学ぶとともに、野生動物や植物を含めたよりマクロな生態系環境や、そのなかでの動物や植物の管理についても学びます。ユニットに所属する学生はユニット共通科目を履修した上で、ミクロ・実験系科目を主体にした履修モデルとマクロ・フィールド系科目を主体にした履修モデルとを選択することができます。

家畜生産科学ユニット

畜産の現場ですぐに活躍できる、家畜の飼育と管理についての幅広い知識と技術を備えた専門職業人を育成します。そのために、ウシやウマなど家畜の生体機能や行動、飼料管理や乳肉の生産・利用についての基礎知識を習得するとともに、本学の誇る畜産フィールド科学センターでの実習を通じて、ウシの飼養管理、エサとなる牧草の装置管理などの実際を学びます。学習内容は家畜人工授精師（牛）や牛削蹄師など現場で求められる資格に結びつきます。

食品科学ユニット

畜産由来の肉製品や乳製品を中心とした食品製造から研究・開発までを担う人材を育成します。そのために、食品の一次機能（栄養性とエネルギー）についての教育を基礎に、食品の二次機能（おいしさや食感）を学ぶ分子生命科学分野へと、食品の機能を総合的に学んでいきます。学習内容は食品衛生管理者任用資格など食の現場で求められる資格に直結し、卒業生は食品製造や流通関係からバイオサイエンス、製薬会社などまで幅広い現場で活躍します。

環境農学ユニット

国内有数の畑作地帯である北海道・十勝を背景に、農業を支える土と環境づくりから、その環境で育つ植物・作物までを総合的に理解して、農畜産業の基盤づくりを担える専門職業人を育成します。所属する学生はユニット共通科目を履修した上で、環境計画や農業機械制御など工学系の科目を中心とする履修モデルと、作物や植物生産系の科目を中心とする履修モデルを希望により選択することができます。卒業生は公務員、農業関係団体などや植物生産の現場などで幅広く活躍します。

農業経済学ユニット

農畜産の生産・経営から農畜産由来食品の流通、消費までに至る過程を、経済学を中心とする社会科学的なものの方や知識からの的確に把握し、地域や世界の農業が抱える課題に的確に対応できる農業経営者・経営学だけでなく、農業政策や会計学、環境経済学、環境法など、農業を支える環境や社会を幅広く理解するための知識を学び、地域調査やデータ解析の手法を身につけます。卒業生は実際の農業経営に携わるほか、農業関係団体や官公庁に活躍の場があります。